

平成26年度事業報告

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

平成26年度は、配合飼料等生産資材が高止まりし、また、原子力発電所事故によって本県の強みである草地飼料基盤の利用に制約が残る中で、国内の畜産生産基盤の縮小に加え、豚流行性下痢（PED）の全国的な発生などの結果、生産量が全体として減少したことから、国産畜産物の価格は総じて堅調に推移した。

特に、黒毛和種子牛の家畜市場における平成26年度平均取引価格は過去最高を記録し、繁殖経営においては生産意欲の刺激が期待されるものの、年度末時点において、現実的な数値として表れるまでになっていない。一方で、肥育経営においては、生産費の上昇による収益性悪化が懸念される状況となっている。

こうした状況において、当協会は、全国屈指の畜産県としての地位の維持・発展を図るため、関係機関・団体との緊密な連携の下に、平成26年度当初事業計画に基づき、各種事業を遅滞なく実施するとともに、国や県において新たに創設された事業を積極的に導入し、本県畜産農家の経営安定に努めた。

【重点実施項目】

- 1 経営診断及び技術指導等による将来の担い手となる経営体の育成
- 2 自衛防疫の普及による家畜衛生対策の強化
- 3 東北地域の生乳検査の円滑実施及び乳質の向上
- 4 円滑な人工授精用精液流通及び家畜改良の推進
- 5 肉用牛肥育経営安定特別対策事業等の実施による畜産経営の安定
- 6 いわて肉用牛躍進運動の推進

I 実施事業

1 継続事業1

畜産経営者に対する生産技術及び畜産経営の改善指導、安全良質な畜産物の生産及び家畜の健康保持に係る知識の普及啓発、畜産及び家畜衛生に関する調査並びに情報の提供、家畜改良の促進、家畜伝染性疾病の予防・まん延防止等の事業を実施した。

(1) 畜産技術指導促進事業

[独自事業：361千円]

地域研修会・会議等に参加し、畜産技術指導等を行った。

会議等 16回、指導 8回

(2) 「岩手の畜産」発行事業

[独自事業：1,331千円]

畜産農家及び畜産関係機関・団体に、畜産経営に有用な情報を提供するため、会報「岩手の畜産」を発行した。

年6回発行（奇数月）、1回当たり発行部数 1,700部

(3) 地域畜産支援指導等体制強化事業

[地全協補助事業：12,311千円]

地域畜産の安定及び高度化を図るため、国及び県の主要な畜産振興施策を補う各種事業を実施した。

ア 畜産経営の支援体制強化事業

- ・ 経営診断指導（コンサルティング） 延べ 182件、地域セミナー 8回
- ・ 肉用牛に携わる女性の集い 参加者 70名
- ・ 乳質改善指導 ミルキングシステム診断 408基、バルククーラー点検 359基
- ・ 乳用牛群検定推進（検定成績等取りまとめ・検定組合等へ配布）
- ・ 地域研修会や会議等への参加及び指導・・・会議等 12回、指導 8回
- ・ 家畜生産農場清浄化促進
ヨーネ病発生農場の同居牛のとう汰等への助成 5頭、433,208円

イ 地域畜産の活性化に資する事業

- ・ 県域及び地域の家畜共進会支援 県域 27市町村、地域 11地域
- ・ 畜産関係情報の提供及び普及啓発（要覧作成・ホームページ更新等）

ウ 馬事普及啓発の推進体制強化事業

- ・ 競馬場等における畜産普及啓発
競馬場における畜産フェア 加工品 500人分配布等（水沢競馬場）
冠レース優勝者への副賞授与 2回
第14回 JBC競走に合わせた畜産フェア 加工品 5,500人分配布等（盛岡競馬場ほか）
- ・ 主要馬産地イベント支援
県内で開催された馬力大会及び流鏑馬競技大会 副賞授与

(4) 畜産特別資金等推進指導事業

[中畜補助事業：4,657千円]

畜産特別資金借受者の経営を改善するため、関係機関・団体で組織する「畜産特別資金岩手県支援推進協議会」による農家指導等を行った。

協議会開催 3回、融資機関指導 24か所、借受者指導 49戸ほか

(5) 肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策）

[機構補助事業：7,659千円、預かり補助金79,992千円]

肉用牛の安定生産を確保するため、国の経営安定対策を補完する取組を支援した。

ア 肉用牛生産基盤強化対策

① 中核的担い手育成増頭推進

繁殖雌牛増頭への奨励金 7農協、216頭

② 優良繁殖雌牛導入支援

優良雌牛を導入・農家に貸付の奨励金 7農協、296頭

③ 肉用牛ヘルパー推進

肉用牛ヘルパー利用の推進等 4組合

④ 肉用牛振興推進指導

①から③の円滑実施のための推進指導等 46回

イ 地域の特徴ある肉用牛振興対策

① 地方特定品種等の振興

- ・ 特徴ある牛肉生産等 1農協、14集団
- ・ 計画出荷対策 1農協、373頭

② 山振地域における肉用牛振興

優良子牛適正出荷推進 3農協、3,082頭

③ 地域の特徴ある肉用牛生産推進指導

①及び②の円滑実施のための推進指導等 21回

(6) 家畜改良推進事業（生涯生産性向上対策）

[農水省補助事業：預かり補助金1,940千円]

生涯生産性等の評価に必要な乳用牛の体型データ等を収集し、酪農家が目指す経営方針に適した牛群の整備を推進した。

体型データ等の収集及び指導に要する経費への補助 データ収集頭数 776頭

(7) 酪農経営安定対策補完事業（牛群検定システム高度化支援事業）

[機構補助事業：55千円、預かり補助金15,592千円]

酪農経営の安定を図るため、牛群検定に取り組む組合がデータ収集及び酪農家指導等に要した経費に補助した。

14検定組合

(8) 家畜共進会開催事業

[岩手県補助：1,250千円、独自事業：1,312千円]

県内畜産農家の家畜改良意識の向上と相互研鑽の場を提供するため、全県を範囲とす

る畜種別の共進会を開催した。

部門	開催日	出品頭数	開催場所
黒毛和種	平成26年9月3日	75頭	JA全農いわて中央家畜市場
ホルスタイン種	平成26年9月4日	78頭	同上
日本短角種	平成26年9月5日	43頭	同上
馬	平成26年9月12日	10頭	馬っこパーク・いわて
肉牛（黒毛和種）	平成26年10月25日	100頭	㈱岩手畜産流通センター

(9) 馬の改良増殖奨励事業

[地金協補助事業：1,281千円]

農用馬の改良及び生産振興を図るため、奨励金の交付等を行った。

ア 優良種雄馬繁殖奨励 [種付け奨励]

種雄馬 7頭、種付け頭数 58頭、奨励金交付額 434,000円

イ 子馬生産奨励 [生産奨励]

交付頭数 35頭、奨励金交付額 837,000円

(10) 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業

[農水省補助事業：2,373千円、預かり補助金17,286千円]

死亡牛の円滑かつ適正な処理とBSE検査の円滑な実施を推進するため、処理に要する費用への補助を行った。

対象戸数 1,250戸、対象頭数 3,533頭

(11) 家畜防疫互助基金造成等支援事業

[機構補助事業：1,706千円]

口蹄疫、豚コレラ等の海外悪性伝染病が発生した場合に備え、その影響を緩和し、経営の再建を支援する互助基金制度について、家畜飼養者への周知を図り、基金への加入を促進した。

ア 地方推進会議 2回

イ 加入戸数及び頭数

乳用牛 838戸（加入率 73.5%）、38,359頭（加入率 86.0%）

肉用牛 4,024戸（加入率 71.1%）、76,984頭（加入率 84.0%）

豚 58戸（加入率 47.2%）、335,160頭（加入率 74.4%）

(12) 育成馬等予防接種推進事業

[中畜補助事業：138千円]

馬伝染性疾病の予防接種を計画的に実施し、発生予防に努めた。

- ・ 実績 日本脳炎 21頭、三種混合 30頭、馬インフルエンザ 42頭
- ・ 地域 遠野市
- ・ 対象馬 軽種馬、乗用馬及び農用馬

(13) 馬飼養衛生管理特別対策事業

[中畜補助事業：234千円]

馬の飼養衛生に関する調査及び普及啓発を行った。

- ・ 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会 1回
- ・ 馬飼養衛生管理技術講習会 1回 (40名)
- ・ 地域馬獣医療実態調査 87戸

(14) 衛生体制強化基金事業

[中畜補助事業：109千円]

各種予防接種事業を効果的に推進するため、各地域協議会における地域推進会議の開催を支援するとともに、啓発資料を作成・配布した。

- ・ 地域推進会議 5回
- ・ アカバネ病予防接種推進パンフレット作成・配布 2,610部

(15) 畜産生産基盤育成強化事業

[岩手県受託事業：5,634千円]

経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営の確立を推進するため、関係機関・団体による経営分析・指導等を行った。

- ア 畜産経営体支援指導研究会 1回
- イ 畜産経営技術の総合支援指導
 - (ア) 個別支援指導の実施延べ 182件
 - ・ 経営診断に基づく改善指導 14件
 - ・ 経営管理技術指導 39件
 - ・ 生産技術指導 72件
 - ・ フォローアップ指導 57件
 - (イ) 地域セミナーの実施 8回
- ウ 畜産情報の提供 (ホームページ掲載)

(16) 乳用牛群検定情報分析センター機能向上事業

[岩手県受託事業：560千円]

乳用牛群検定普及定着化事業で得られた情報データを集積及び分析し、情報提供及び指導を実施した。

- ・ 情報データを集積及び分析し、成績書として取りまとめ配布
- ・ 検定組合への巡回指導 14検定組合各 1回
- ・ 検定加入促進

(17) 公庫資金活用推進事業（農業経営サポート調査）

[中畜受託事業：500千円]

公庫資金を活用して経営展開を目指す畜産農家を支援するため、経営改善計画等の作成に助言等を行った。

借入後の経営改善計画作成支援 5戸

(18) 図書支援事業

[中畜受託事業：486千円]

中央畜産会が発行した月刊誌「畜産コンサルタント」及び畜産に関する書籍等を斡旋配布し、畜産の知識・技術の普及啓発を行った。

配布実績 月刊誌 492冊、書籍 6冊

(19) 乳用種初生牛生産費調査事業（乳用種初生牛の経営に関する調査）

[中畜受託事業：255千円]

畜産振興施策の基礎資料を得るため、乳用種初生牛の生産費等に係る調査を実施した。

調査対象 酪農経営 15戸

(20) 地域自衛防疫強化特別対策事業

[家畜衛生対策推進協議会受託事業：943千円]

生産者段階での口蹄疫等の海外悪性伝染病の防疫体制の充実・強化を図るため家畜防疫演習等を開催した。

防疫演習の開催 5回

(21) 畜産近代化リース協会貸付事業指導等事業

[畜産近代化リース協会受託事業：1,218千円]

畜産近代化リース協会貸付事業により導入された施設・機械の適正利用を確保するため、物件確認と管理状況調査等を行った。

調査物件数 82基、リース事業周知 13回

(22) ミルキングシステム診断事業

[独自事業：6,543千円]

乳房炎の発生を予防し、乳質を向上させるため、ミルキングシステム診断及び搾乳指

導等を実施した。

ミルクシステム診断 408基、バルククーラ点検 359基

(23) 都府県酪農経営国産粗飼料利用体制強化事業

[中畜補助事業：5,367千円、預かり補助金151,390千円]

輸入粗飼料が高騰する中、輸入粗飼料への依存体質を改善するため、国産粗飼料の利用体制強化計画を策定して飼料作物の作付け・利用を推進する酪農経営者に対して、経産牛飼養頭数1頭当たり6,100円の奨励金を交付した。

交付戸数 713戸、交付経産牛頭数 24,818頭、交付金額 151,389,800円

(24) 死亡牛処理円滑化推進事業

[岩手県受託事業：316千円、預かり補助金5,843千円]

県南地域化製場の操業停止に伴い、死亡牛処理等費用が増嵩する農家の負担を軽減するため、補助を行った。

補助戸数 376戸、補助金交付頭数 706頭、交付額 5,843,611円

(25) 農場HACCP認証審査体制基盤緊急整備事業

[中畜受託事業：587千円]

農場HACCPの普及を推進するため、説明会の開催及び認証農場の調査を行った。

認証制度説明会 1回、認証農場調査 2農場

(26) 畜産動産担保融資活用推進事業

[中畜受託事業：245千円]

畜産経営における資金調達に有用とされる動産担保融資（ABL）について、本県の畜産農家の意向等を把握するため、調査を行った。

アンケート調査 120戸、聞き取り調査 3戸

(27) 生産段階における防疫強化支援事業（馬インフルエンザ等防疫強化特別対策事業）

[中畜受託事業：370千円]

馬インフルエンザ及び馬鼻肺炎の防疫対策を徹底するため、農用馬等へのワクチン接種を推進した。

馬インフルエンザワクチン接種頭数 99頭

(28) 酪農生産基盤維持緊急支援事業（後継者確保対策のうち担い手経営向上支援）

[中畜受託事業：478千円]

本県酪農の生産基盤維持・回復を図るため、新規就農者・後継者等を対象として、経

営技術向上に関する研修会及び個別指導を行った。

研修会 2回、個別指導 2戸

(29) 国産畜産物安心確保等支援事業（快適性に配慮した家畜の飼養管理推進事業）

[中畜受託事業：256千円]

国における家畜改良増殖の方向性検討の資料とするため、県内の家畜飼養戸数及び飼養頭数の調査を行った。

鶏を除く家畜の飼養戸数・頭数調査

(30) 公庫資金活用推進事業（地域農業支援事業）

[日本政策金融公庫受託事業：100千円]

畜産経営の改善に資するため、会議等において公庫資金の情報を提供し、活用を推進した。

畜産経営体への公庫資金の情報提供 1回

2 継続事業2

肉用牛肥育経営の安定対策

(1) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業

[機構補助事業：2,271,641千円、独自事業：17,208千円]

肉用牛肥育経営の安定を図るため、四半期ごとに、肥育牛1頭当たりの平均粗収益が平均生産費を下回った場合、肥育牛補填金の交付を行った。

ア 肥育牛補填金交付対策

[機構補助事業：2,258,018千円]

(ア) 基金造成

機構：1,347,006千円、生産者：447,670千円

(イ) 契約生産者数及び契約肥育牛頭数（平成26年2月1日～平成27年1月31日）

生産者 395戸、肥育牛頭数 20,665頭

(ウ) 補填金交付実績

- ・ 補填金交付総額 463,342千円
- ・ 交付対象頭数 11,998頭

内訳：肉専用種 3,169頭、交雑種 6,172頭、乳用種 2,657頭

イ 肥育経営安定推進

[機構補助事業：13,623千円]

- ・ 会議開催 1回
- ・ 委託費交付額 4,017千円
- ・ 事務委託先 全国農業協同組合連合会岩手県本部他 10者

ウ 推進事務費（生産者手数料）

[独自事業：17,208千円]

- ・ 協会分 14,813千円

- ・ 事務委託先分 2,394千円

(2) 日本短角種肥育経営安定特別対策事業

[岩手県補助事業：20,170千円、市町補助事業：10,085千円、
農協補助事業：10,085千円]

日本短角種肥育経営の安定のため、肉用牛肥育経営安定特別対策事業による補填金額が、日本短角種肥育牛の平均粗収益と平均生産費の差額の8割を下回った場合、その下回った額（上限額40千円）の補填を行った。

ア 基金造成額

16,310千円

イ 基金造成内訳（負担区分：県1/2、市町1/4、農協1/4）

区 分	戸数	頭数	単価	補助金等
岩 手 県	24戸	649頭	12,500円	8,112,500円
盛 岡 市	2戸	28頭	6,250円	175,000円
久 慈 市	14戸	318頭	6,250円	1,987,500円
二 戸 市	1戸	83頭	6,250円	518,750円
岩 泉 町	7戸	220頭	6,250円	1,375,000円
新岩手農業協同組合	23戸	643頭	6,250円	4,018,750円
岩手中央農業協同組合	1戸	6頭	6,250円	37,500円
合 計	24戸	649頭	—	16,225,000円

ウ 補填金交付実績（平成26年2月～平成27年1月販売分）

- ・ 交付対象頭数 615頭
- ・ 交付総額 23,031千円

エ 推進事務

推進事務費 1,000千円

補填金交付及び担当者会議開催

3 継続事業3

家畜自衛防疫事業

[農水省補助：9,946千円、独自事業：214,110千円]

家畜生産農場における家畜伝染病等の清浄化及びまん延防止のため、同居牛のとう汰や組織的な予防接種等を推進した。

(1) 家畜生産農場清浄化支援対策事業

ア ヨーネ病防疫推進

自主とう汰等対象頭数 11頭

- イ オーエスキー病清浄化推進対策
抗体検査頭数 3,374頭
- ウ 牛白血病対策
抗体検査頭数 74頭
- エ 発生・流行防止対策
アカバネ病予防接種 45,583頭（前年比 95.9%）

（2）独自事業

ア 予防接種

- ・ 牛五種混合（生）予防接種 25,614頭（前年比 93.1%）
- ・ 牛五種混合（不活化）予防接種 5,792頭（前年比 106.0%）
- ・ 牛六種混合（生・不活化）予防接種 1,889頭（前年比 46.0%）
- ・ 牛ヘモフィルス予防接種 21,980頭（前年比 91.6%）
- ・ 豚丹毒（生）予防接種 141,109頭（前年比 91.4%）
- ・ 豚丹毒（不活化）予防接種 37,180頭（前年比 104.5%）

イ 家畜伝染性疾病緊急防疫対策事業

補助件数 13件

内訳：ヨーネ病3件、サルモネラ症4件、ウイルス性下痢・粘膜病6件

II その他事業

1 その他事業1

家畜人工授精用精液流通調整事業

[独自事業：70,746千円]

本県の肉用牛及び乳用牛の改良増殖を推進するため、サブセンターを通じて、家畜人工授精用精液の供給を行った。

ア 凍結精液供給本数

110,802本（前年比 102.5%）

内訳：乳用牛 43,314本（前年比 100.9%）、肉用牛 67,488本（前年比 103.5%）

イ 受精卵供給個数

510個（前年比 120.9%）

内訳：乳用牛 68個（前年比 79.1%）、肉用牛 442個（前年比 131.5%）

ウ 液体窒素供給量

53,461kg（前年比 100.6%）

エ 受胎調査報告等会議の開催

受胎率（平成25年1月1日～12月31日授精分）

乳用牛 48.2%、肉用牛 62.5%

- オ サブセンター家畜人工授精担当者県外研修
 - ・ 研修内容 鳥取県及び島根県における種雄牛造成及び牛群検定情報に基づく繁殖管理指導等
 - ・ 参加者 10名（人工授精担当者 7名他）
- カ サブセンター家畜人工授精担当者会議
1回、参加者数 41名
- キ 家畜改良に関する情報の提供
88回（うち講演会 2回）

2 その他事業2

家畜登録事業

[独自事業：35,332千円]

本県で飼養される乳用牛及び豚の改良を促進するため、家畜登録事業の活用を推進した。

ア 家畜登録取扱件数

(ア) 乳用牛

8,316件（前年比 91.4%）

- ・ 血統登録 5,094件（前年比 86.3%）
- ・ 牛群審査 1,091件（前年比 93.7%）
- ・ 検定成績 815件（前年比 117.6%）
- ・ 移動他 1,316件（前年比 98.1%）

(イ) 豚

2,542件（前年比 95.3%）

- ・ 子豚登記 1,811件（前年比 103.1%）
- ・ 移動他 100件（前年比 43.3%）
- ・ 種豚登録 622件（前年比 92.6%）
- ・ 指定農場 9件（前年比 112.5%）

イ 研修会及び会議出席

(ア) 東北地区登録委員研修会及びゲノミック技術向上研修会（ホルスタイン種）

平成26年7月31日～8月1日、葛巻町、受講者 43名

(イ) 支部・承認団体登録事務取扱者研修会

平成26年9月24日～25日、東京都、出席者 1名

(ウ) ジャudging・スクール

平成26年10月31日～11月1日、栃木県那須塩原市、受講者 1名

(エ) 中央審査研修会

平成26年9月9日～11日、北海道新ひだか町、受講者 1名

(オ) 東日本地区種豚登録講習会 (豚)

平成26年12月4日、東京都渋谷区、受講者 3名

(カ) 冬期登録事務担当者会議 (ホルスタイン種)

平成27年2月5日～6日、東京都中野区、出席者 1名

3 その他事業 3

生乳検査事業

[独自事業：121,481千円]

東北地域の農業協同組合等からの委託及び依頼を受けて、生乳取引等に係る生乳検査を実施した。

ア 取引試料乳検査

検査対象乳量 554,879,537kg (前年比 96.3%)

イ 牛群検定試料乳検査

555,890件 (前年比 95.6%)

ウ 依頼試料乳検査

(ア) 成分及び体細胞数検査 20,877件 (前年比 86.3%)

(イ) 細菌数検査 6,247件 (前年比 84.2%)

4 その他事業 4

関係機関・団体が行う研修会等への職員派遣を通じて、職員の技術・知識の向上を図るとともに、畜産経営に有益な情報提供を行った。

また、地方競馬への支援を兼ねて、競馬場において畜産への理解を促進するため、畜産物の配布等を行った。

(1) 職員技術研修事業

[独自事業：80千円]

関係機関・団体が行う先進的な研修会等に本会職員を派遣し、知識・技術の向上を図った。

研修会及び講習会 5回、5人

(2) 北海道・東北畜産協会職員研修事業

[独自事業：98千円]

北海道・東北ブロック畜産協会職員研修会に参加し、畜産に関する知識・技術の習得並びに諸情報の交換を行った。

10月6日～7日、秋田県秋田市及び秋田県由利本庄市 8名

(3) 岩手競馬支援特別対策事業

[独自事業：310千円]

冠レースへの会長賞授与、競馬ファン感謝サービスの実施、畜産物の消費宣伝等を行った。

ア 冠レースへの会長賞授与

2回（10月29日オクトーバーカップ、11月23日区界賞）

イ 岩手競馬ファン感謝サービス

11月23日、水沢競馬場で畜産加工品を無料配布（500個）

ウ 畜産物等の消費宣伝

岩手競馬ファン感謝サービスに合わせて、畜産品の展示販売を実施

(4) 畜産関係団体調整機能強化事業

[中畜受託事業：236千円]

11月2日盛岡競馬場において、岩手競馬ファン大感謝祭を開催、先着600名に畜産物加工品を配布し、岩手競馬を側面的に支援した。

(5) 畜産振興補助事業（畜産フェア普及特別対策）

[地全協補助事業：4,568千円]

畜産への理解醸成と畜産物の消費拡大を促進するため、地方競馬最大のイベントであるJBC競走の開催により、県内外から多数の入場者が見込まれる盛岡競馬場において、県産畜産物の無料試食や加工品及び資料の配布を行った。

加工品 5,500人分配布、焼き肉試食、県産畜産物PRリーフレット等配布